

地域美産研究・探訪会ニュース No.50

発行：平成 19 年（2007 年）9 月 13 日

第 50 回催事 美産会世話人 伊豆井秀一 企画・案内

「さいたま美産会 - VI」

『人形の町、岩槻の地域美産たち』

研究・探訪会：平成 19 年 10 月 13 日(土)

記念すべき美産会活動の第 50 回催事は、伊豆井秀一世話人による「さいたま美産会シリーズ」その VI です。今回訪ねるさいたま市岩槻区は、室町時代からの歴史を有する地で、「人形の町、岩槻」としても全国的に有名。過去 5 回の「さいたまシリーズ」以上に内容豊かな伊豆井さんの企画・解説です。



「人形の東玉」HPより



岩槻城の長屋門 通称黒門

岩槻の地は、周辺には利根川（現・古利根川）、荒川（現・元荒川）などの大河が流れ、古くから東北地方に通じる主要な街道が通るなど、水陸交通の要衝でした。このため岩槻は、軍事上の拠点として時の有力武将から重視され、例えば室町時代の長禄元年（1457）太田道灌によると言われる岩付（槻）城の築城、江戸時代には大岡家岩槻藩 2 万 2 千石の城下町として、また日光東照宮の造営後（元和 3 年（1617））は、日光御成街道の宿場町として栄えた町です。

「人形の町岩槻」の歴史は、日光東照宮の造営にあたった工匠の一部が、御成道の宿場町だった岩槻にとどまり、人形作りを手がけたのが始まりとされています。



現存する県内唯一の藩校遷喬館

明治に入っても岩槻の町は埼玉県東部の政治・経済の中心地であり続け、昭和 29 年（1954）には岩槻市となり、平成 17 年（2005）、さいたま市と岩槻市の合併により、さいたま第 10 番目の区として「岩槻区」に発展しました。

今回はこうした歴史を持つこの地の歩みを、現存する歴史的建物美産から探ると共に、五月人形、雛人形の生産高の 90 パーセント以上を誇る「人形の町、岩槻」の今昔も、同時にたどってみるつもりです。

交歓会は、江戸時代以来の老舗「ほていや」でおこない、この地ならではの酒食を楽しみながら探訪会の余韻を語り合う予定。



伊豆井秀一（いずい ひでかず）：埼玉県立近代美術館学芸主幹。埼玉県立博物館勤務の後、美術研究の傍ら埼玉県下の社会美産（パブリックアート）の調査と研究を手掛け、その成果を彩の国、埼玉県の公共空間へパブリックアートを導入するプロジェクトのまとめ役として活躍するなど、長年埼玉県の芸術文化事業を推進。1949 年生。

次の美産会：11 月 17 日（土）会員 橋本 完さん大阪美産会Ⅱ「水都大阪の魅力と大阪城＋熊野街道」

第 50 回催事 「さいたま美産探訪会－Ⅵ、岩槻の地域美産たち」

日 時	平成 19 年 10 月 13 日 (土) 12:15~17:00 頃 (雨天決行)
集 合 時 間 ・ 場 所	12:00 東武野田線岩槻 (大宮から 5 駅目) 駅改札口辺 (昼食を済ませて集合)
探 訪 コー ス (予 定)	東玉・人形の博物館→人形工房の見学→岩槻郷土資料館→遷喬館→酒造資料館→時の鐘→岩槻城跡 久保宿通り (岩槻本町公民館解散) etc.
案 内 と 解 説	伊豆井秀一
参 加 人 数	25 名
探 訪 会 参 加 費	詳細は下欄の②を参照
個 人 費 用 負 担	若干の現地費用
交 歓 会	ほていや (江戸時代以来の老舗) 048-756-1661
遅 刻 等 の 連 絡	080-3003-5277 (福原)、080-1074-8607 (伊豆井)

参加申込書

記入日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

① 10月9日(火) 迄にこの申込書をメール、FAX (03-3407-5247)、郵送で。

ふりがな		性別	男・女	年齢	才	
氏 名		職業				
住 所	〒 _____					
生年月日	大正/昭和 (西暦) 年 _____ 月 _____ 日					
参加資格	① 会員 ② 家族会員 ③ 法人会員 ④ 学生/埼玉関係者 ⑤ 一般					
Tel(自宅)		Fax				
Tel(携帯)		e-mail				
ふりがな		性別	男・女	年齢	才	
氏 名		職業				
ふりがな		性別	男・女	年齢	才	
氏 名		職業				

② 参加記入欄 (該当金額欄に○を付けて下さい)

	1 探訪会	2 昼食代	3 交歓会	4. 合 計
① 会員/*学生 (特別割引)	1,500	各自	5,000	6,500
② 家族会員 (1 名分)	1,500	各自	5,000	6,500
③ 法人会員 (1 名分)	1,500	各自	5,000	6,500
④ *埼玉関係者 (特別割引)	2,500	各自	5,000	7,500
⑤ 一般	3,000	各自	5,000	8,000

参加申込と受付 会員優先で申込先着順とします。以下の申込手続きに従って申し込んでください。

1. 参加申込欄の記入事項欄に必要事項を記入し、メールかファックス又は郵送で事務局へ。
2. 事務局から参加枠確保の連絡を受けて、指定振込口座 (みずほ銀行青山支店普#2341030, パブリックアート研究所) に貴方の参加料金を振込料自己負担で振り込み。
3. 振込み無き場合は貴方の参加枠が喪失。 4. 振込済み料金払戻し;主催者側瑕疵の場合を除き払戻不可。
5. 探訪会の事故: 損保ジャパン「レクリエーション保険」内で補償。 6. 申込締切: 10月9日(火)

③ 貴方の振込金額 (上欄の○付金額の合計記入): ¥ _____